

ともに支え合う やさしさとぬくもりのある ^{まち}“北斗市”をめざして



平成 18 年 2 月に北斗市社会福祉協議会が旧上磯町と旧大野町の合併によって誕生してから 12 年が経過しました。

この間、長引く経済不況もあいまって、若者の都市部流出等によって北斗市の人口は減少し、我が国の経済が平成 24 年 11 月を底に緩やかな回復基調が続いている今日でも人口減少は続いており、高齢化が一段と進んでいます。また、我が国では、少子化・核家族化の進行と人口減少社会の到来によって、世界でも類を見ない超高齢社会に突入し、地域住民のつながりの希薄化と一人暮らし高齢者や子育てに不安を抱えるひとり親家庭等の増加によって、地域が抱える課題は多様化・複雑化・深刻化してまいりました。

このような社会情勢の中で、平成 22 年度に第 1 期北斗市地域福祉実践計画を策定し、基本目標を「ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり」とし、その実現に向けて今まで地域福祉の推進に努めてまいりました。本来であれば、平成 27 年度に第 2 期実践計画を策定する予定でしたが、北斗市地域福祉計画に合わせるため、策定を 2 年間延長し、このたびの第 2 期実践計画の策定となった次第です。

第 2 期実践計画では、第 1 期実践計画の基本目標を基本理念に改め、「ともに支え合う、やさしさとぬくもりのある福祉の地域づくり」を基本理念とし、その実現に向けて 4 つの基本目標を掲げ各種事業に取り組んでまいります。

また、これまでの「福祉のまちづくり」から「福祉の地域づくり」に改めたのは、今日の福祉政策が地域づくりに重点が置かれていることもあります、それ以前に、地域の絆が薄れつつあることから、かつて、どこの地域にもあった、平時からのお互いさまの心で、向こう三軒両隣で声をかけあう習慣や普段からほどよい距離感でご近所付き合いができれば、その地域は互いに助け合い、励まし合って生活することが可能となり、この互助の精神が他の地域に広がっていくことによって、必然的に北斗市の福祉のまちづくりへと繋がっていくものとの思いから、改めて地域づくりの必要性を強く抱いたからであります。

のことから、今後は誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするために、この計画の着実な実践が大切になってまいります。そのためには、行政はもちろんのこと、これまで以上に多くの地域住民の方々や福祉関係団体・関係機関の参画、ボランティアの方々の積極的な参加をいただいて、ともに地域づくりを進めていかなければなりません。

本会では、この基本理念の実現に向けて、役職員一同、一丸となって地域福祉活動に取り組んでまいりますので、関係者の皆様をはじめ、より多くの市民の皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月

社会福祉法人北斗市社会福祉協議会
会長 伏見勉